Toshima Fukushi

豊島福祉

2020 No.267 夏号

今月の内容

■2019年度　主要事業報告及び決算の概要
■2019年度　社協会費の使い道
■社協の助成金を活用して地域のつながりに役立てています！
■地域の活動紹介～としまランチサポートプロジェクト～
■社会福祉協議会の取り組み
■ご寄附をありがとうございました

「長野県 渋峠 横手山」　写真…千葉　光雄

2019年度 主要事業報告

2019年度は、以下の4点を重点項目として地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

重点取組事業

1 地域福祉活動計画に基づく豊島区版「地域共生社会」づくりの推進

- 年度の目標を設定し、具体的な進捗管理を行いました。
- 最終年度に地域福祉活動の全体図が描けるように、情報の収集と分析を継続的に行いました。

2 社協職員の人材育成と職員研修事業の拡充

- 組織体制の基盤整備をおこなうため目標管理制度を令和2年度開始に向け準備を行いました。選択と集中を進め今後、事務事業評価による所要人員や将来的な人件費負担を踏まえた定数管理を開始しました。
- フレッシャートレーナーを係内で完結できるようにマニュアルを改訂しました。
- 職員交流として区が設けた「区・団体相互間の人事交流制度」を積極的に活用しました。
- 働き方改革としてノー残業デーの実施やハラスメント研修を実施しました。

3 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の増員による地域共生社会づくりの推進と地域福祉活動の充実

- 18名のCSWが８つの圏域に分かれて、ちょっとした困りごとから複雑な家庭の生活課題に至るまで「個別の相談・支援」「地域支援活動」「地域のネットワークづくり」「地域の実態把握」「住民の福祉意識の醸成」の5つの役割を軸に事業展開しました。
- 「誰もが安心して暮らせるまち」において、障がいやひきこもりの理解を地域社会でより一層進めていくための講演会の開催等を行ってきました。
- 「新たな支え合いのあるまち」に向け、地域のつながりづくりを進める生活支援コーディネート事業に協力して、誰もが安心して外出しやすい環境整備に取り組みました。高田地域において地元の民生委員、町会、専門学校、高齢者福祉施設、高齢者総合相談センター等と一緒に街角にベンチを置く活動を行い、現在2台のベンチを置くことが出来ました。
- 「地域の元気が見えるまち」に向け、ちょっとした困りごとが生じる高齢者宅を対象に、大学生と連携した「学生出前定期便」活動を実施し、都営住宅に住む25戸の高齢者宅の粗大ごみの搬出・整理等を、学生、民生委員、CSWが協働して行いました。

4 市民後見人養成講習の開催

- 平成28年度と同様に、豊島区と連携して、第2回市民後見人養成講習を開催しました。
- 令和元年6月に募集説明会を開催し、37名の区民の方にご参加いただきました。
- 同年7月から令和2年1月の期間中に入門講座と基礎講座（12日間）を行い、最終的に、社会貢献の精神に基づく後見活動に意欲的な10名の住民の方が全課程を修了されました。
- 今後は、後見人等候補者の養成に留まらず、権利擁護支援の地域連携ネットワークや中核機関設置に向けた計画的整備についても、区との連携で進めて参ります。

2019年度 決算の概要

（単位:円）

	2019年度決算額（A）	2018年度決算額（B）	差異（A）－（B）
前年度繰越金	33,394,720	36,040,047	△ 2,645,327
収入総額	453,785,708	465,474,019	△ 11,688,311
支出総額	458,371,156	468,119,346	△ 9,748,190
支払資金残高	28,809,272	33,394,720	△ 4,585,448

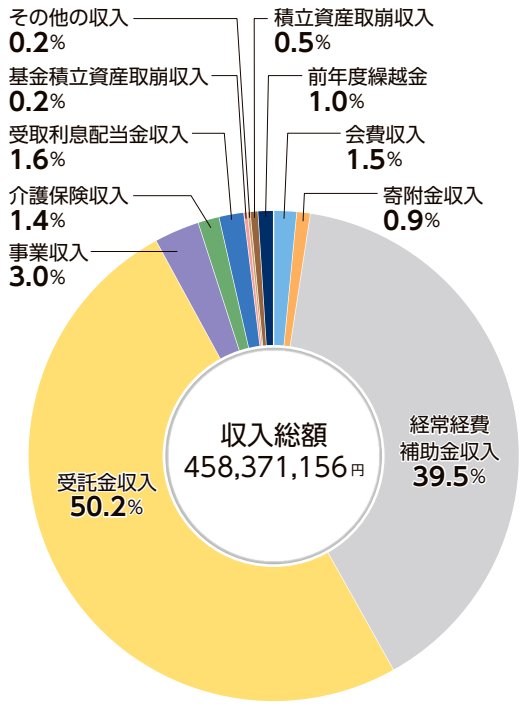
収　入　内　訳　（科目別）

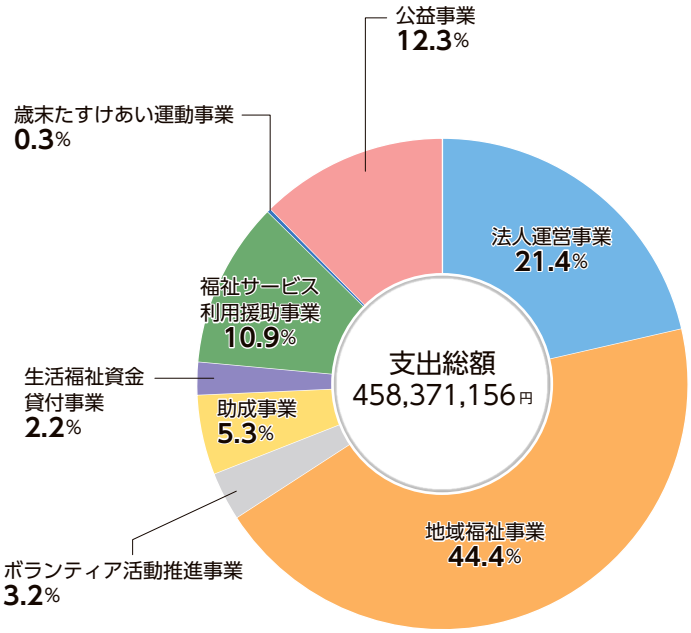
収入科目	収入金額（円）
会費収入	7,036,000
寄附金収入	4,035,222
経常経費補助金収入	180,955,170
受託金収入	229,930,891
事業収入	13,653,915
介護保険収入	6,455,298
受取利息配当金収入	7,432,134
基金積立資産取崩収入	1,116,326
その他の収入	842,260
積立資産取崩収入	2,328,492
前年度繰越金※	4,585,448
合　計	458,371,156

支　出　内　訳　（事業区分別）

事業区分名	支出金額（円）	主な事業内容
法人運営事業	98,140,991	◇理事会・評議員会運営 ◇区民ミーティングの開催 ◇成年後見等開始審判申立費用助成事業 ◇敬老の日訪問事業 ◇感謝状贈呈 ◇地域福祉活動計画推進委員会 ◇広報事業 ◇会員制度の運営
地域福祉事業	203,639,703	◇リボンサービス事業 ◇ハンディキャブ運行事業 ◇困りごと援助サービス事業 ◇ふくし健康まつり開催 ◇コミュニティソーシャルワーク事業 ◇生活困窮者自立支援促進事業 ◇生活支援コーディネート事業 ◇福祉包括化推進事業（新規） ◇東日本大震災被災者支援事業 ◇リフト付乗用自動車運行事業 ◇高齢者元気あとおし事業 ◇受験生チャレンジ支援事業 ◇親子ふれあい助成事業 ◇緊急支援事業
ボランティア活動推進事業	14,635,219	◇ボランティアセンター運営事業 ◇ボランティア活動推進PR事業 ◇災害ボランティア支援事業
助成事業	24,132,486	◇障がい者施設・団体等事業助成 ◇地域福祉活動事業助成 ◇給食ボランティアグループ助成 ◇サロン活動支援助成
生活福祉資金貸付事業	9,914,000	◇生活福祉資金貸付事業 ◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
福祉サービス利用援助事業	50,124,964	◇福祉サービス権利擁護支援室 ◇地域福祉権利擁護事業 ◇法人後見・社会貢献型後見人活用事業 ◇社会貢献型後見人養成事業
歳末たすけあい運動事業	1,185,250	◇「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」運動事業
公益事業	56,598,543	◇中央高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の運営 ◇ひとり暮らし高齢者アウトリーチ事業
合　計	458,371,156	

※支出に対する収入不足を補うため、前年度繰越金を充当しています。





2019年度　社協会費の使い道

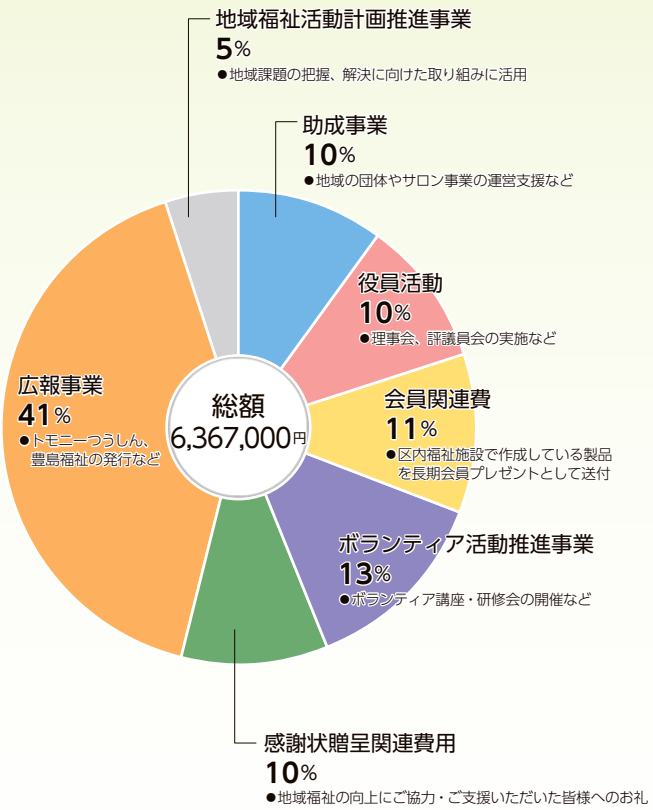
皆様の会費が 地域福祉の充実に つながります

2019年度の会費は、総額636万7千円でした。皆様から頂いた大切な会費は、以下のように活用させていただきました。

◆地域で活動する団体やサロンの経費の一部を助成し、活動の促進・支援をしました。

◆区民ミーティングを実施し、サロン運営や防災活動、多世代交流など、様々な地域活動につながる支援を行いました。

◆会報誌「豊島福祉」や広報誌「トモニーつうしん」の発行、ホームページの運営等で、地域福祉情報の共有化を図りました。



社協の助成金を活用して
地域のつながりに役立てています！
（地域福祉活動費助成事業・サロン活動支援助成事業）

昨年度は147件の障がい者施設・団体等の地域福祉活動・サロン活動に対し9,874,000円の助成（決定額）を実施いたしました。数ある活動の中から活用事例をご紹介させていただきます。

音楽を活用したボーダーレスな多様性交流サロン（音っこサロン 結）

０歳から高齢者まで、障がいの有無や国籍に関係なく、誰もが集える音楽を活用したボーダーレスな多様性交流サロンです。地域住民の生きがいや活躍の場作り、身近な相談の場、健康や福祉に関する学びの場作りを通じ、地域のニーズ・社会課題の把握につながればという思いから始めました。いろんな世代の音楽や珍しい楽器に触れて遊びましょう♪

夏休みラジオ体操会
（千川一丁目町会）

幼稚園や学校以外での地域コミュニティを夏休みの恒例行事であるラジオ体操を通じて構築し、そして千川一丁目町会の存在を知ってもらうことを目的として開催しました。朝の挨拶や地域の大人と接することにより顔見知りができ、地域コミュニティは昨年より前進したように感じました。

地域の活動

豊島区で行われている地域の活動をご紹介しています。

まちの焼肉屋さんから子どもたちに無料でお弁当を提供

食を通じた地域の支え合いの輪 ～としまランチサポートプロジェクト～

新型コロナウイルスの影響で学校の一斉休校も数ヶ月に渡り、生活に不安を抱えながら子育てをしているご家庭もある中、地域の支え合いの取り組みの一つとして「としまランチサポートプロジェクト」が5月から行われました。

このプロジェクトは、地域の拠点である各区民ひろば前で、事前申し込みをした幼児から高校生のお子さんに対して、お弁当を無料で配布するものです。

区内で焼肉店、中華料理店等を営む唐商株式会社の清水勇社長の“地域の子どもたちに何かできることはないか”という思いを豊島区日本中国友好協会に伝えたところからご縁があり、豊島区民社協にお話をいただきました。

立ち上げにあたり、まずは子どもがいる家庭を支援している『豊島子どもWAKUWAKUネットワーク』へ声かけを行い、そこから区内の子育て支援団体、民生児童委員、主任児童委員、行政、社協、関係機関等で組織する『TOSHIMA TABLE』につながり、実施される運びとなりました。

お弁当は、感染予防を十分に行ったうえ手渡しで配られました。地域の方から「久しぶりだね」「家ではどんなことをして過ごしているの？」といった声かけや近況を報告し合う様子が見られ、ちょっとした言葉のやりとりが、お子さんやご家族にとっての励ましや癒しになっているようでした。

また、この取り組みを知った企業や区内の社会福祉施設等から野菜やパンなどの食料品が提供されるなど、支援の輪が広がっていきました。

豊島区民社協としても、さらに地域の皆さんや関係機関との連携を強め「支え合いのある地域づくり」をすすめていきたいと思います。

「としまランチサポートプロジェクト」

主催：NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、TOSHIMA TABLE
お弁当提供：座135池袋東口店、炭焼道楽池袋東口店
協賛：豊島区、豊島区民社会福祉協議会

豊島区民社会福祉協議

中央高齢者総合相談センター

（地域包括支援センター）

TEL 03-5985-2850　FAX 03-5985-2835

高齢者の身近な相談窓口として、高齢者ご本人やそのご家族、関係者などから相談を受け、専門知識を持つ職員（社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等）が対応をしています。お気軽にご相談ください。

暮らしに関する総合相談

ご相談の内容を整理し、専門の相談窓口につなげたり、有効な支援を一緒に考えたりします。

また、介護保険をはじめ、高齢者対象の制度やサービスの説明、申請受付などを行っています。

高齢者の権利擁護についての相談

判断能力の衰えにより、お金の管理や契約行為に不安を感じている方に、成年後見制度の利用支援や消費者トラブル、高齢者虐待への相談に応じます。

介護予防や健康維持の相談

誰もがいつまでも健やかに過ごすため、介護予防に取り組むことを推進しています。

また、一人ひとりの希望にそった生活が送れるよう、心身の状況に合わせて、必要な情報を提供し、適切な支援を受けるための調整を行います。

認知症に関する相談

認知症の症状に合わせて受けられるサービス情報等をご案内し、認知症になってもその方らしい生活が送れるようサポートします。

※豊島区内に8 つのセンターがあり、それぞれ担当地域を持っています。
【中央の担当地域：北大塚3 丁目、上池袋1～4 丁目、東池袋1～5 丁目】

見守り支援事業担当

TEL 03-5985-2836
FAX 03-5985-2835

高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、訪問等による相談支援を行い、必要に応じて介護保険サービスや見守り声掛け事業の利用につなげていきます。

また、地域住民や関係機関と連携して、地域の見守り体制づくりにも取り組んでいます。

熱中症対策事業

毎年、夏季期間中に75歳以上の一人暮らし高齢者の方を中心に戸別訪問をさせていただき、熱中症予防の声掛けとグッズをお配りしています。

開催報告

福祉サービス権利擁護支援室「サポートとしま」

2019年度 社会貢献型後見人（市民後見人）養成講習

令和元年7月から令和2年1月にかけて、豊島区では2回目となる「社会貢献型後見人（市民後見人）養成講習」を開催しました。この講習は、病気や障がいにより判断能力が低下した方を法的に支援する「成年後見制度」や、関連する社会福祉制度等について学び、将来的に個人で成年後見人となることを目指すもので、10名の区民の方が全てのカリキュラムを修了されました。講師には法律・医療・社会福祉等それぞれの専門家をはじめ、豊島区の担当職員等をお招きし、充実した内容となりました。

社会貢献型後見人となるため「後見活動メンバー」に登録された方には、今後も様々な研修に参加していただく予定です。

弁護士による、成年後見人の実務に関する講義の様子

会ではこんなことに取り組んでいます。

コロナに負けない！CSWの取り組み

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、子どもから高齢者まで全世代を対象とした「暮らしのなんでも相談」を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通常とは異なる生活に戸惑いやストレスを感じている方も多い中、ある妊婦の方からCSW宛に「人と会えない状態が続いており、とても不安に感じている」という一通のメールが届きました。これをきっかけに、コロナ禍で困りごとや不安を抱えている方は他にも多くいるのではないかと考え、妊娠・子育て期を安心して過ごすお手伝いができるように、妊婦・子育て世代向けにメール相談を始めました。

この他にも、地域の方々による手作りマスクの寄贈を通じた社会貢献活動の支援など、様々な相談に対応しています。ご自身の困りごと、地域で気になることや心配なことなど、なんでも気軽にご相談ください。

地域相談支援課
コミュニティソーシャルワーク担当
TEL　03-3981-4392
E-mail　csw_toshima@a.toshima.ne.jp

受験生チャレンジ支援貸付事業のご案内

お子さんが入学されると、返済が免除になる制度です。
お子さんの塾代などの工面にお困りの方、
ぜひご相談ください。

対象者	中学３年生 またはこれに準ずる方	高校３年生 またはこれに準ずる方
貸付金額	塾　代　200,000円（上限） 受験料　27,400円（上限） ※　１校あたり 23,000 円まで ※　１度で４校（回）まで	塾　代　200,000円（上限） 受験料　80,000円（上限）

※準ずる方とは、中途退学者、高卒認定試験合格者、浪人生など

申請には、諸条件があります。要件等については、
担当までご遠慮なくお問い合わせください。

総務課（貸付担当）**03-6388-0055**

ご寄附をありがとうございました

2020年3月1日～2020年5月31日

寄附金（敬称略）

月　日	寄附者氏名	金額（円）
3月 2日	柳澤 裕仁	10,000
3月23日	豊島区高齢者クラブ連合会	30,000
3月27日	池袋本町末廣町会	20,000
4月30日	秋森　和	10,000
	合計	70,000

寄附物品（敬称略）

月　日	寄附者氏名	物　品
3月 2日	株式会社　光通信	お米３kg（北海道産ゆめぴりか）
3月 9日	豊島理容組合女性部	雑巾 32 枚
3月 9日	株式会社　光通信	お米６kg（新潟県産こしひかり）
3月11日	伊達米店	消毒用アルコール・タオル
3月13日	橋本　めぐみ	お手玉　100 個
3月31日	矢島　みどり	生地
4月 2日	宗教法人　真如苑　大塚支部	お菓子詰め合わせ　７個入× 1200 個
4月 8日	一般社団法人　日中商経創新会	マスク　1000 枚
4月27日	匿名	マスク　30 枚
5月13日	株式会社　安田屋	お菓子　2550 袋
5月25日	三菱ケミカルフーズ　株式会社	お菓子詰合せ　50 箱
5月26日	株式会社　光通信	食料品２箱（レトルトご飯・カレー、茶葉、珈琲、紅茶、ラスク、ジャム）
5月27日	株式会社　光通信	レトルトカレー６箱

御篤志に心より感謝いたします

住まいの「困った」に寄り添います

- 住まいが見付からず、生活再建ができない
- 移動が一苦労で、探しに行けない
- 様々な理由で、入居を断られ続ける
- 住宅支援に行き詰っている
- 所有する貸室や空家に困っている
- ほか、様々なお悩み…

お困りごとを、是非お聞かせください

Well-being.Tokyo 株式会社
（ウェルビーイングトウキョウ）
代表　柿本志信
TEL 080-2396-4368　FAX 03-6685-8237
Mail info@wellb.tokyo
HP https://www.wellbeing-Tokyo.com/
※誰にでも分かりやすい「おうち」講座、開催予定！

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛が解除され、街に人が戻ってきています。

行きかう人の声が聞こえた時、普通の生活が戻りつつあると感じました。

今年の夏はコロナ感染予防に加え熱中症にも気を付けなくてはなりません。３密にならないように気をつけ、日々の生活が送れますようにと願っています。

（大山さと子）

表　紙
千葉　光雄

広報委員
岡田　実（高田地区）
西森すみ子（巣鴨地区）
三輪　緑（池袋東地区）
戸澤　佳子（池袋西地区）
酒井　順子（高田地区）
大山さと子（長崎第一地区）
松﨑伊津枝（長崎第二地区）
広瀬　孝一（社協）

発　行
2020年7月
社会福祉法人
豊島区民社会福祉協議会
豊島区東池袋1−39−2
豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階
☎03-3981-2930

デザイン・印刷：㈱美巧社